

仕様書

1. 件名

放射線治療データベースシステムの保守

2. 数量 1 式

3. 目的

2021 年度に導入した放射線治療データベースシステムは、QST 病院内で稼働している情報システム群と連携し、放射線治療／重粒子線治療に関する情報の蓄積、管理、運用を目的に、24 時間365日稼働し、病院の診療及び研究を支援している。従って、当該システムを常に安定した稼働状態に保ち、障害発生による診療業務への影響を最小限に抑えるために、加えて日常業務や研究データの分析/提供などにおける運用/技術支援、システムメンテナンスを目的に、当該保守を行うものである。

4. 期間

2026年4月1日～2027年3月31日(12ヶ月間)

5. 履行場所

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

重粒子治療推進棟 重粒子治療推進棟 R-B103

6. 仕様

① 保守内容・条件

保守対象は、放射線治療データベースシステム(株式会社ファインデックス)一式のハードウェア・ソフトウェアである。

- ソフトウェアおよび動作環境の保守・点検
- ハードウェアの保守点検
- 当該システム・連携システムに起因する障害対応
- 運用上で発生する運用支援、技術支援、それらに伴う問い合わせ対応
- 障害事象の確認とその切り分け
- 障害原因が導入・開発したソフトウェアの不具合と判明した場合の修正
- サーバ機器(OS)とリモートメンテナンス装置に関するセキュリティパッチ等の適用とその報告
- リモートメンテナンス装置の使用歴/ログデータの保存と管理

② 定期保守

1回/年以上のメンテナンス作業を行うこと。

- メンテナンスのタイミングは利用状況及び障害発生状況により当機構側の担当者と調整の上決定する。
- 本作業は、オンサイト、リモート作業のいずれでも対応可能である。
- 作業にあたり、事前に作業スケジュールを提出し担当者に承認を受けること。作業後は報告書を提出すること。

定期メンテナンス業務は、以下のとおり。

- エラーログ、操作ログ、セキュリティログなどの確認
- データ及びコンテンツバックアップ状況の確認
- ディスク・CPU・メモリなどのリソース使用状況の確認
- セキュリティ対策を目的としたプログラム等の適用
- その他、障害の予兆と思われる症状の確認

③ 日常保守

- 保守連絡受付は 365 日 24 時間対応とする。
- 技術員による対応時間は、月曜日から金曜日の 9:00～17:00 とすること。但し、祝祭日、年末年始(12/29～1/3)であっても、病院が診療業務を行う日で緊急の場合は当院担当者と相談の上で対応すること。
- また土日祝や夜間などの業務停止時間に対応が必要と思われる場合は、緊急事態や重大な障害発生時については、当院担当者と協議の上で適切と思われる時間帯に対応すること。
- 保守作業開始時には、保守体制(特に障害発生時の連絡体制)を書面に明記すること。
- 障害予防の目的で、システムの一部または全てを停止して作業を行う必要がある場合には、事前(原則として1週間以上前)に当機構担当者の承認を得ること。サービス停止の場合は通常の診療業務に影響を及ぼさない時間帯で作業を行うこと。

④ その他

- 本仕様書について疑義が生じた場合は、別途協議のうえ決定する。
- リモートメンテナンス環境は、放射線治療データベースシステム(株式会社ファインデックス)を利用して行うこと。
- リモートメンテナンス時のネットワーク構成(セキュリティ)・個人情報の保護。リモートメンテナンス利用環境に関して、当院が定めた指針及び「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン(厚生労働省)」の記載事項に準拠すること。詳細については当院担当者と打ち合わせの上決定する。
- 懸案事項については当院担当者と打ち合わせを行い、解決や対応に関する進捗・調査内容を台帳などに記録・管理し共有すること。

- 1～2日/年ほど、法令停電がある。この際の対応も本契約に含むこと。

7. 守秘義務

- ① 当機構のセキュリティポリシーおよび個人情報保護の対策に従うこと。特に患者情報を始めとする個人情報の持ち出しは禁止しているため、施設のセキュリティポリシー及び個人情報保護の対策に従うこと。
- ② 受注者は、本件で取得した量研の情報を、量研の許可なしに本件の目的以外に外部に漏らしたり利用してはならない。本件の終了後においても同様とする。
- ③ 受注者は、実際に診療を受けた患者のデータが蓄積されているため、本件で取得した量研の情報を、量研の許可なしに第三者に開示してはならない。本件の終了後においても同様とする。
- ④ 本件の履行に当たり、受注者は従業員又はその他の者によって、量研が意図しない変更が加えられることのない管理体制を整えること。
- ⑤ 本件の履行に当たり、情報セキュリティ確保の観点で、受注者の資本関係・役員等の情報、本件の実施場所、業務を行う担当者の所属・専門性(情報セキュリティに係る資格・研修実績等)・実績及び国籍に関する情報を求める場合がある。受注者は、これらの要求に応じること。
- ⑥ 本件に係る情報漏えいなどの情報セキュリティインシデントが発生した際には、速やかに量研担当者に連絡し、その指示の元で被害拡大防止・原因調査・再発防止措置などを行うこと。
- ⑦ 受注者は、量研から本件で求められる情報セキュリティ対策の履行状況を量研からの求めに応じて確認・報告を行うこと。またその履行が不十分である旨の指摘を受けた場合、速やかに改善すること。
- ⑧ 受注者は、本件の終了時に、本件で取得した情報を削除又は返却すること。また、取得した情報が不要となった場合も同様とする。
- ⑨ 本件で作成された著作物(マニュアル、コンピュータプログラム等)の所有権は、量研に帰属するものとする。
- ⑩ 上記のセキュリティを遵守することに伴い、ハードウェア故障時に記憶装置などの交換が発生した場合、製造メーカー・リース会社などへの引取りは不可とする。買取りなどの対応を行い、施設外に持ち出さないこと。

8. 検査

保守作業完了後、当機構職員が所定の検査を行い、これに合格したことをもって検査合格とする。

所属部課名 QST 病院 医療技術部 医療情報課
使用者 上村 幸司

選定理由書

1. 件名	放射線治療データベースシステムの保守
2. 選定事業者名	株式会社ファインデックス
3. 目的・概要等	2021 年度に設置した放射線治療データベースシステムは、QST 病院内で稼働している情報システム群と連携し、放射線治療／重粒子線治療に関する情報の蓄積、管理、運用を目的に、24 時間 365 日稼働し、病院の診療及び研究を支援している。従って、当該システムを常に安定した稼働状態に保ち、障害発生による診療業務への影響を最小限に抑えるために、加えて日常業務や研究データの分析/提供などにおける運用/技術支援、システムメンテナンスを目的に、当該保守を行うものである。
4. 希望する適用条項	契約事務取扱細則第 29 条第 1 項第 1 号ワ (電算システムのプログラムの改良又は保守であって、互換性確保のために契約相手方が一に限定されるとき、または、当該システムの著作権その他の排他的権利を有するシステム開発者にしかできないと認められるものを当該システム開発者に行わせるとき。)
5. 選定理由	放射線治療データベースシステムは、株式会社ファインデックスが開発・販売している製品であり、プログラムのソースコード等の著作権は株式会社ファインデックスが保有しており他に開示していない。安全稼働の維持と障害防止、加えて障害時の円滑な対処を行うため、本件を実施するにあたっては、同ソフトウェアプログラム/連携システムとの詳細仕様を熟知している必要があることから、株式会社ファインデックス以外が請け負うことは不可能である。